



夢創造

豊野中だより



教育目標「夢創造～一生懸命がカッコイイ」～ 生き生き充実ウェルビーイング！

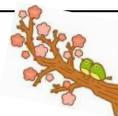
令和6年度2月号 春日部市立豊野中学校



『夢創造と成長の2月』

私の「あいたいね大作戦」とは・・・

教務主任



「〇〇先生、お久しぶりです」。私が長年、「会いたいなあ」と待ち望んでいた時間でした。学生時代の恩師と再会し、思い出話や、今の夢の「語り合い」ができました。そして今、教師の仕事にやりがいを感じていることの『感謝』を伝えました。

今年の箱根路の王者「青山学院大学」の原監督が掲げる「〇〇大作戦」は箱根駅伝ファンの風物詩となっています。今年は『あいたいね大作戦』でした。ただ、よく文言を見てみると『あいたいね』はひらがな表記です。どんな意味が込められているのでしょうか。

原監督は「会いたい」、「合いたい」の2つの言葉でインタビューに答えていました。『会いたい』は、「顔をあわせたい。対面したい」という意味です。駅伝のゴールで、仲間と笑顔で「会いたい」ということですね。もう一つの『合いたい』は、「一致したい。一緒にしたい」という意味です。駅伝のゴールで、仲間と喜び「合いたい」ということですね。作戦の意図はここにありました。

様々な環境の中で、人との出会いは、新しい考え方や価値観に触れるチャンスです。そこで得られるものは、今後の生活に大きな影響を与える可能性があるため、その一瞬一瞬を大切にする必要があります。その出会いを成長の機会として、常に全力で人と向き合うことで、豊かな人間関係を築いていくことができると思います。

皆さんにはこの豊野中で、先生や友達とのステキな「出会い」がたくさんありますね。そして、「笑い合い」、「学び合い」、「競い合い」、「助け合い」、「認め合い」など、目の前の相手との時間や、会話、やりとりを心から大切にできる姿勢が芽生えています。お互いに、誠実さや真剣さが伝わり、顔を合わせていると自然にこの人とは、「また会いたい」と思えるようになります。どんな出会いも「一期一会」と考え、相手との時間を大切にすることが、皆さんの成長や、次の素晴らしい出会いへと繋がっていくのです。

最後に原監督は、もう一つの『あいたいね大作戦』があったことを示してくれました。実は仲間1人がある病気で治療に専念していたのです。「元気になった仲間がチームに戻ってきた時、初めて『あいたいね大作戦』が完結します」と。皆さんは何を感じますか・・・？

皆さんにも、家族や友人、先生、クラスや部活動の仲間、応援してくれる人、支えてくれる人、目標とする人がたくさんいます。すべて「出会い」です。絆で繋がっています。駅伝のように襷を繋ぎ、絆で繋がっていくことを大切にしていきましょう。必ずステキな未来が待っています。

今だからこそ、自分の『あいたいね大作戦』を見つめてみてはいかがでしょうか？

さて、保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様には学校関係者評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。本校の教育活動を振り返るとともに、次年度に向けて、より実のある教育活動を展開するための貴重な資料となります。裏面に今年度の結果と改善点をまとめました。特に「学校生活が楽しい」と答えた生徒が91.7%で高い評価でしたが、残りの8.3%の生徒に寄り添い、本来あるべき100%を目指していきます。常態のレベルアップや改善、対策等を教職員一丸となって進めていきたいと考えます。

豊野中生の活躍！ 令和6年度市内書きぞめ展

推薦賞
特選賞

金賞



豊野中学校 2月の予定



3日(月)	部活終了 17:15 完全下校 17:30
4日(火)	全校朝会
7日(金)	特別支援学校入学選考
11日(火)	建国記念の日
13日(木)	3年期末テスト① 2年職業学習 小学校出前授業(豊野小)
14日(金)	3年期末テスト② 小学校出前授業(藤塚小)
18日(火)	公立高校志願先変更期間
19日(水)	公立高校志願先変更期間 専門委員会
21日(金)	1、2年テスト前諸活動停止期間 (～26日) 豊野中エコふれあいデー
23日(日)	天皇誕生日
24日(月)	振替休日
26日(水)	公立高校学力検査 3年給食なし 1、2年期末テスト①
27日(木)	公立高校実技面接検査 3年給食なし 1、2年期末テスト②

スキー教室に行ってきました！

1年生は1月14日～16日に長野県湯の丸高原スキー場にてスキー教室を実施しました。インストラクターの方々の指導の下、メキメキと上達し、全員がゲレンデを楽しく滑走することができました。今年は十分な積雪量で、2日目の降雪、最終日の快晴のもと、気持ちよく滑ることができました。

1組



2組



3組



4組



令和6年度 生徒・保護者・教職員の評価結果

春日部市立豊野中学校

設問	評価項目	年度	生徒						保護者						教職員		評価結果についての分析・考察
			1年生		2年生		3年生		1年生		2年生		3年生		平均	達成度	
			平均	達成度	平均	達成度	平均	達成度	平均	達成度	平均	達成度	平均	達成度			
1	生徒は、学校生活を楽しんでいると思いますか。	R 6	3.47	90.4%	3.50	91.1%	3.53	93.7%	3.50	90.9%	3.43	94.8%	3.34	84.1%	3.72	100.0%	<p>＜学校生活全般＞</p> <p>設問1「楽しむ」は、全対象者が楽しいと感じており、生徒は90%以上の高い達成度である。設問2「夢や目標」は、2、3年保護者の達成度が上がった。1年生生徒が例年より低い。設問3「家庭での目標」は、保護者は昨年度より達成度が低い。設問4「家庭連絡や情報」は、保護者の達成度が大幅に上がった。設問5「愛着」は、生徒は高い数値で達成度は維持できているが、3年保護者は大幅に下がっている。3年生生徒が90%を超えていることで、後輩に魅力ある学校の伝統を引き継ぐことができる。</p>
		R 5			3.58	92.6%	3.54	90.4%			3.51	90.8%	3.40	90.9%	3.59	96.3%	
2	生徒は、夢や目標を持って学校生活を送っていると思いますか。	R 6	3.07	76.9%	3.03	75.8%	3.13	78.0%	2.86	69.7%	2.90	69.0%	3.02	75.0%	3.28	93.8%	<p>学校生活全般においては、高い達成度となっており、多くの生徒が目標を持ち、楽しく学校生活を送っている状況が見られる。このことが、活気のある豊野中となっている根拠の一つであると考えられる。ただ、数パーセントの生徒に目を向けたり、一人一人が集団の中で個性を失うことがないように留意していく。生徒の自主性を高めるために、学びや活動の価値を見出させながら、お互いに高め合っていくような魅力ある学校づくりに努めていきたい。また、学校からの連絡については、家庭、地域、学校を結ぶ重要なパイプであり、ホームページやリーパー等の活用で、積極的に学校の様子やリアルタイムな情報を発信し、気軽に来校できる、連絡できる学校づくりに努めていく。生徒が「夢、目標」を持ち、実現に向けて粘り強く努力し、実現した時の喜び、感動を体感できるような指導を今後とも続けていきたい。</p>
		R 5			3.16	77.9%	3.10	75.2%			2.95	65.8%	2.93	70.9%	3.00	88.8%	
3	学校やクラスの様子を生徒と家庭で話をしていますか。	R 6	3.28	78.9%	3.18	79.6%	3.20	81.1%	3.23	81.8%	3.02	74.1%	3.05	70.5%	3.13	87.5%	<p>学校生活全般においては、高い達成度となっており、多くの生徒が目標を持ち、楽しく学校生活を送っている状況が見られる。このことが、活気のある豊野中となっている根拠の一つであると考えられる。ただ、数パーセントの生徒に目を向けたり、一人一人が集団の中で個性を失うことがないように留意していく。生徒の自主性を高めるために、学びや活動の価値を見出させながら、お互いに高め合っていくような魅力ある学校づくりに努めていきたい。また、学校からの連絡については、家庭、地域、学校を結ぶ重要なパイプであり、ホームページやリーパー等の活用で、積極的に学校の様子やリアルタイムな情報を発信し、気軽に来校できる、連絡できる学校づくりに努めていく。生徒が「夢、目標」を持ち、実現に向けて粘り強く努力し、実現した時の喜び、感動を体感できるような指導を今後とも続けていきたい。</p>
		R 5			3.34	83.9%	3.17	78.4%			3.14	77.6%	3.05	78.2%	3.00	81.5%	
4	学校は、各たよりや学校ホームページ、メール等を利用し、学校の様子や家庭への連絡を積極的にに行っていると思いますか。	R 6	2.92	76.0%	2.87	70.7%	3.08	77.2%	3.02	74.2%	3.09	89.7%	3.25	79.6%	3.53	96.9%	<p>学習面について、生徒の達成感が高い割合を示している。「授業が分かりやすい」と回答している生徒の割合が85%以上と示している一方で、保護者の達成度が低いのは、学力向上に大きな期待の表れであると捉えている。教職員の授業で勝負する熱意が生徒に伝わり、授業に意欲的に取り組む生徒の姿が見られる。生徒の学習習慣が少しずつ定着してきているものの、未だ十分とは言えない状況である。保護者からの期待値が高い分、家庭での協力も得ながら、家庭学習を習慣化することが課題である。生徒の好奇心や興味関心を広げて、受け身の姿勢にならず、自ら家庭学習に向き合う時間を増やしていく。いつの頃も大人は生徒に対して「もっと良い成績を」と期待は大きいですが、結果よりも、努力している過程を認めて、基礎学力をつけながら、能力に応じた学習が確立していく。</p>
		R 5			3.09	75.8%	3.01	72.8%			3.07	80.3%	3.00	70.9%	3.52	92.6%	
5	生徒は、豊野中学校に愛着を持っていると思いますか。	R 6	3.45	89.5%	3.44	89.2%	3.47	92.9%	3.05	75.8%	2.90	74.1%	2.93	68.2%	3.38	96.9%	<p>学習面について、生徒の達成感が高い割合を示している。「授業が分かりやすい」と回答している生徒の割合が85%以上と示している一方で、保護者の達成度が低いのは、学力向上に大きな期待の表れであると捉えている。教職員の授業で勝負する熱意が生徒に伝わり、授業に意欲的に取り組む生徒の姿が見られる。生徒の学習習慣が少しずつ定着してきているものの、未だ十分とは言えない状況である。保護者からの期待値が高い分、家庭での協力も得ながら、家庭学習を習慣化することが課題である。生徒の好奇心や興味関心を広げて、受け身の姿勢にならず、自ら家庭学習に向き合う時間を増やしていく。いつの頃も大人は生徒に対して「もっと良い成績を」と期待は大きいですが、結果よりも、努力している過程を認めて、基礎学力をつけながら、能力に応じた学習が確立していく。</p>
		R 5			3.53	92.0%	3.46	89.6%			3.11	79.0%	3.11	80.0%	3.48	96.3%	
6	先生は、わかりやすい授業の工夫に努めていると思いますか。	R 6	3.23	89.4%	3.11	86.0%	3.14	87.4%	2.67	62.1%	2.31	47.2%	2.91	70.5%	3.47	100.0%	<p>＜学習面＞</p> <p>設問6「わかりやすい授業」は、生徒と教職員の達成度が高い。3年保護者の達成度が大幅に上がった。設問7「粘り強さ」は、生徒の数値が低下している。設問8「授業の理解」は、全生徒の達成度が90%超えだが、保護者と教職員は低い傾向にある。設問9「学力向上」は、三者とも達成度が低いが、3年保護者は24.6%と大幅に伸びている。設問10「家庭学習」は、保護者の数値の伸びから、生徒の家庭学習が習慣化していると感じる。教職員の29.0%は大きな危機感を感じる。</p>
		R 5			3.37	94.0%	3.23	86.4%			2.70	61.8%	2.71	58.2%	3.37	96.3%	
7	生徒は、粘り強く授業に取り組んでいると思いますか。	R 6	3.03	76.9%	2.97	78.3%	3.11	79.5%	2.73	57.6%	2.74	62.1%	2.89	65.9%	3.00	77.4%	<p>学習面について、生徒の達成感が高い割合を示している。「授業が分かりやすい」と回答している生徒の割合が85%以上と示している一方で、保護者の達成度が低いのは、学力向上に大きな期待の表れであると捉えている。教職員の授業で勝負する熱意が生徒に伝わり、授業に意欲的に取り組む生徒の姿が見られる。生徒の学習習慣が少しずつ定着してきているものの、未だ十分とは言えない状況である。保護者からの期待値が高い分、家庭での協力も得ながら、家庭学習を習慣化することが課題である。生徒の好奇心や興味関心を広げて、受け身の姿勢にならず、自ら家庭学習に向き合う時間を増やしていく。いつの頃も大人は生徒に対して「もっと良い成績を」と期待は大きいですが、結果よりも、努力している過程を認めて、基礎学力をつけながら、能力に応じた学習が確立していく。</p>
		R 5			3.12	83.9%	3.10	80.0%			2.83	65.8%	2.75	56.4%	3.00	77.8%	
8	生徒は、授業の内容をよく理解していると思いますか。	R 6	3.49	92.3%	3.36	91.7%	3.47	94.5%	2.38	47.0%	2.58	57.4%	2.77	65.9%	2.58	51.7%	<p>学習面について、生徒の達成感が高い割合を示している。「授業が分かりやすい」と回答している生徒の割合が85%以上と示している一方で、保護者の達成度が低いのは、学力向上に大きな期待の表れであると捉えている。教職員の授業で勝負する熱意が生徒に伝わり、授業に意欲的に取り組む生徒の姿が見られる。生徒の学習習慣が少しずつ定着してきているものの、未だ十分とは言えない状況である。保護者からの期待値が高い分、家庭での協力も得ながら、家庭学習を習慣化することが課題である。生徒の好奇心や興味関心を広げて、受け身の姿勢にならず、自ら家庭学習に向き合う時間を増やしていく。いつの頃も大人は生徒に対して「もっと良い成績を」と期待は大きいですが、結果よりも、努力している過程を認めて、基礎学力をつけながら、能力に応じた学習が確立していく。</p>
		R 5			3.54	94.6%	3.58	94.4%			2.67	59.2%	2.65	56.4%	2.67	62.9%	
9	生徒の学力は、向上していると思いますか。	R 6	2.99	71.2%	2.96	75.2%	2.92	72.4%	2.35	42.4%	2.43	40.3%	2.93	68.2%	2.58	54.8%	<p>生活面について、生徒の達成感が高い割合を示している。「あいさつ」の達成度、三者とも80%以上と非常に高い。地域の方からも高い評価を得ている。あいさつを通して生徒の心が豊かになっている。設問12「きまりやルール」の達成度、三者とも92%以上と高い。設問13「いじめ防止」は、三者とも高い達成度である。生徒は85%以上の数値である。設問14「大人に相談」は、三者とも昨年より改善が見られ、今後伸びが期待できる。設問15「生徒理解」は、日常的に生徒に寄り添い、高い達成度を維持できている。</p>
		R 5			3.11	80.5%	3.04	76.8%			2.45	40.8%	2.40	43.6%	2.67	59.3%	
10	生徒は、家庭学習を行っていますか。	R 6	2.99	75.0%	3.00	71.3%	2.95	71.7%	2.53	51.5%	2.62	56.9%	3.20	79.6%	2.16	29.0%	<p>生活面について、生徒の達成感が高い割合を示している。「あいさつ」の達成度、三者とも80%以上と非常に高い。地域の方からも高い評価を得ている。あいさつを通して生徒の心が豊かになっている。設問12「きまりやルール」の達成度、三者とも92%以上と高い。設問13「いじめ防止」は、三者とも高い達成度である。生徒は85%以上の数値である。設問14「大人に相談」は、三者とも昨年より改善が見られ、今後伸びが期待できる。設問15「生徒理解」は、日常的に生徒に寄り添い、高い達成度を維持できている。</p>
		R 5			2.93	70.5%	3.06	74.4%			2.39	44.7%	2.73	56.4%	2.19	29.6%	
11	生徒は、友達や先生、地域の方へのあいさつがよくできていると思いますか。	R 6	3.42	89.4%	3.52	91.7%	3.50	91.3%	3.15	83.3%	3.28	86.2%	3.11	81.8%	3.25	93.8%	<p>＜生活面＞</p> <p>設問11「あいさつ」の達成度、三者とも80%以上と非常に高い。地域の方からも高い評価を得ている。あいさつを通して生徒の心が豊かになっている。設問12「きまりやルール」の達成度、三者とも92%以上と高い。設問13「いじめ防止」は、三者とも高い達成度である。生徒は85%以上の数値である。設問14「大人に相談」は、三者とも昨年より改善が見られ、今後伸びが期待できる。設問15「生徒理解」は、日常的に生徒に寄り添い、高い達成度を維持できている。</p>
		R 5			3.63	92.6%	3.57	93.6%			3.18	81.6%	3.33	89.1%	3.33	85.2%	
12	生徒は、学校生活のきまりやルールを守っていると思いますか。	R 6	3.54	93.3%	3.57	95.5%	3.52	96.1%	3.52	92.4%	3.48	93.1%	3.66	97.7%	3.32	100.0%	<p>挨拶の達成度が高く、コミュニケーションが円滑に行われている。挨拶を通じて人間関係も豊かになり、地域とのつながりが深まっている。挨拶自体を目的ではなく、学校生活を豊かにするための手段として、お互いの心を開くことのできる信頼関係を築いていく。生徒主体で学校生活のルールを考案する場面を設けたことで、生徒自身が正しい判断をする力が備わってきて、生活規律の秩序を保つことができるようになった。多様な中学生の心の成長を良い方向へと伸ばしていくために、日常的に生徒の悩みに寄り添い、信頼のできる大人の力を借りて、気軽に話しやすい雰囲気づくりを進めていく。「やりとり帳」や「心と体の安全点検」を通して、学習状況、悩み、心の動きを察し、相談のきっかけ作りを進めていく。そして、心理的な安心感を高め、悩みの解決に向けた信頼関係が築かれる環境づくりに力を入れていく。</p>
		R 5			3.64	97.3%	3.65	97.6%			3.49	96.1%	3.56	90.9%	3.22	92.6%	
13	学校は、いじめなどのない楽しい学級づくりに努めていると思いますか。	R 6	3.42	85.6%	3.31	86.4%	3.35	86.6%	3.05	80.3%	2.93	74.1%	2.89	72.7%	3.44	96.9%	<p>挨拶の達成度が高く、コミュニケーションが円滑に行われている。挨拶を通じて人間関係も豊かになり、地域とのつながりが深まっている。挨拶自体を目的ではなく、学校生活を豊かにするための手段として、お互いの心を開くことのできる信頼関係を築いていく。生徒主体で学校生活のルールを考案する場面を設けたことで、生徒自身が正しい判断をする力が備わってきて、生活規律の秩序を保つことができるようになった。多様な中学生の心の成長を良い方向へと伸ばしていくために、日常的に生徒の悩みに寄り添い、信頼のできる大人の力を借りて、気軽に話しやすい雰囲気づくりを進めていく。「やりとり帳」や「心と体の安全点検」を通して、学習状況、悩み、心の動きを察し、相談のきっかけ作りを進めていく。そして、心理的な安心感を高め、悩みの解決に向けた信頼関係が築かれる環境づくりに力を入れていく。</p>
		R 5			3.28	83.9%	3.50	86.4%			3.13	85.5%	3.02	72.7%	3.19	88.9%	
14	生徒は、相談事や悩みについて大人に相談できていると思いますか。	R 6	3.00	71.2%	2.96	70.7%	3.02	75.6%	2.95	77.3%	2.97	81.0%	3.07	75.0%	3.23	96.8%	<p>挨拶の達成度が高く、コミュニケーションが円滑に行われている。挨拶を通じて人間関係も豊かになり、地域とのつながりが深まっている。挨拶自体を目的ではなく、学校生活を豊かにするための手段として、お互いの心を開くことのできる信頼関係を築いていく。生徒主体で学校生活のルールを考案する場面を設けたことで、生徒自身が正しい判断をする力が備わってきて、生活規律の秩序を保つことができるようになった。多様な中学生の心の成長を良い方向へと伸ばしていくために、日常的に生徒の悩みに寄り添い、信頼のできる大人の力を借りて、気軽に話しやすい雰囲気づくりを進めていく。「やりとり帳」や「心と体の安全点検」を通して、学習状況、悩み、心の動きを察し、相談のきっかけ作りを進めていく。そして、心理的な安心感を高め、悩みの解決に向けた信頼関係が築かれる環境づくりに力を入れていく。</p>
		R 5			2.94	70.5%	3.10	73.6%			2.89	75.5%	2.87	69.1%	3.00	85.2%	
15	先生は、生徒のことをよく理解していると思いますか。	R 6	3.27	85.6%	3.05	76.4%	3.27	86.6%	2.95	75.8%	2.83	79.1%	3.09	79.6%	3.31	96.9%	<p>挨拶の達成度が高く、コミュニケーションが円滑に行われている。挨拶を通じて人間関係も豊かになり、地域とのつながりが深まっている。挨拶自体を目的ではなく、学校生活を豊かにするための手段として、お互いの心を開くことのできる信頼関係を築いていく。生徒主体で学校生活のルールを考案する場面を設けたことで、生徒自身が正しい判断をする力が備わってきて、生活規律の秩序を保つことができるようになった。多様な中学生の心の成長を良い方向へと伸ばしていくために、日常的に生徒の悩みに寄り添い、信頼のできる大人の力を借りて、気軽に話しやすい雰囲気づくりを進めていく。「やりとり帳」や「心と体の安全点検」を通して、学習状況、悩み、心の動きを察し、相談のきっかけ作りを進めていく。そして、心理的な安心感を高め、悩みの解決に向けた信頼関係が築かれる環境づくりに力を入れていく。</p>
		R 5			3.15	81.2%	3.17	79.2%			3.05	80.3%	2.89	67.3%	3.04	81.5%	
16	学校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいると思いますか。	R 6	2.98	74.0%	2.74	70.1%	2.61	60.6%	3.08	86.4%	3.07	84.5%	3.00	72.7%	2.88	78.2%	<p>＜学校行事・学校環境＞</p> <p>設問16「環境美化」は、保護者の数値は比較的高い。掲示物等の評価が高いと感じられる。教職員と生徒はトイレ環境を課題としている。設問17・18「委員会活動等」「学校行事」の参加は、三者とも80%以上の達成度である。設問19「ボランティア活動」は、保護者の達成度は高まっている。学校から地域へと発信して、ボランティア活動の地域参画を推進していく。設問20「部活動の充実」は、生徒・教職員の達成度が高く、3年保護者の達成度は下がっている。</p>
		R 5			3.04	76.5%	2.73	62.4%			3.07	82.9%	3.02	74.6%	2.70	63.0%	
17	学校は、生徒会や委員会活動等を積極的に推進していると思いますか。	R 6	3.48	88.5%	3.32	86.6%	3.24	83.5%	3.17	89.4%	3.09	86.2%	3.20	81.8%	3.09	84.4%	<p>挨拶の達成度が高く、コミュニケーションが円滑に行われている。挨拶を通じて人間関係も豊かになり、地域とのつながりが深まっている。挨拶自体を目的ではなく、学校生活を豊かにするための手段として、お互いの心を開くことのできる信頼関係を築いていく。生徒主体で学校生活のルールを考案する場面を設けたことで、生徒自身が正しい判断をする力が備わってきて、生活規律の秩序を保つことができるようになった。多様な中学生の心の成長を良い方向へと伸ばしていくために、日常的に生徒の悩みに寄り添い、信頼のできる大人の力を借りて、気軽に話しやすい雰囲気づくりを進めていく。「やりとり帳」や「心と体の安全点検」を通して、学習状況、悩み、心の動きを察し、相談のきっかけ作りを進めていく。そして、心理的な安心感を高め、悩みの解決に向けた信頼関係が築かれる環境づくりに力を入れていく。</p>
		R 5			3.41	90.6%	3.36	84.0%			3.20	84.2%	3.06	81.8%	3.04	81.5%	
18	生徒は、様々な学校行事に積極的に参加していると思いますか。	R 6	3.29	84.6%	3.46	92.4%	3.36	83.5%	3.26	87.9%	2.29	91.4%	3.30	84.1%	3.71	96.8%	<p>生徒が健康に学習や生活できる衛生環境のため、体育館内のエアコン、換気扇、LEDと大規模工事で、快適な環境で充実した学びができる。校舎の劣化や修繕に対しては早急に対応できている。今後は新たに多様な学びに対応した学習空間や、地域が学校に参加する環境整備が必要となってくる。生徒会や委員会活動等、学校行事を通して、自分ができること、やりがいを感じられる活動を見つけて、生徒自身によりどころや得意なことを発見させていく。さらに生徒が主体的に組織をつくり、合意形成を図ることで充実した学校生活を構築していく。ボランティア活動という定義の曖昧さがあり、普段何気なくやっていることが実はボランティアであることを伝えていく。身近な校内活動でやりがいを感じられる活動を共に行いながら、本校の特色であるボランティア部との協働活動で、ボランティア参加を更に充実させたい。</p>
		R 5			3.34	85.2%	3.48	92.0%			3.28	86.8%	3.25	81.8%	3.52	92.6%	
19	生徒は、ボランティア活動に積極的に取り組んでいると思いますか。	R 6	2.27	37.5%	2.43	45.2%	2.32	37.0%	2.61	53.0%	2.86	67.2%	2.73	56.8%	3.00	78.2%	<p>挨拶の達成度が高く、コミュニケーションが円滑に行われている。挨拶を通じて人間関係も豊かになり、地域とのつながりが深まっている。挨拶自体を目的ではなく、学校生活を豊かにするための手段として、お互いの心を開くことのできる信頼関係を築いていく。生徒主体で学校生活のルールを考案する場面を設けたことで、生徒自身が正しい判断をする力が備わってきて、生活規律の秩序を保つことができるようになった。多様な中学生の心の成長を良い方向へと伸ばしていくために、日常的に生徒の悩みに寄り添い、信頼のできる大人の力を借りて、気軽に話しやすい雰囲気づくりを進めていく。「やりとり帳」や「心と体の安全点検」を通して、学習状況、悩み、心の動きを察し、相談のきっかけ作りを進めていく。そして、心理的な安心感を高め、悩みの解決に向けた信頼関係が築かれる環境づくりに力を入れていく。</p>
		R 5			2.50	51.7%	2.48	47.2%			2.53	48.7%	2.58	49.1%	3.22	81.5%	
20	生徒にとって、部活動（クラブ活動は含まない）は充実した活動になっていると思いますか。	R 6	3.43	87.5%	3.46	86.0%	3.44	86.6%	3.26	84.9%	3.31	82.8%	2.80	59.1%	3.63	100.0%	<p>挨拶の達成度が高く、コミュニケーションが円滑に行われている。挨拶を通じて人間関係も豊かになり、地域とのつながりが深まっている。挨拶自体を目的ではなく、学校生活を豊かにするための手段として、お互いの心を開くことのできる信頼関係を築いていく。生徒主体で学校生活のルールを考案する場面を設けたことで、生徒自身が正しい判断をする力が備わってきて、生活規律の秩序を保つことができるようになった。多様な中学生の心の成長を良い方向へと伸ばしていくために、日常的に生徒の悩みに寄り添い、信頼のできる大人の力を借りて、気軽に話しやすい雰囲気づくりを進めていく。「やりとり帳」や「心と体の安全点検」を通して、学習状況、悩み、心の動きを察し、相談のきっかけ作りを進めていく。そして、心理的な安心感を高め、悩みの解決に向けた信頼関係が築かれる環境づくりに力を入れていく。</p>
		R 5			3.53	90.6%	3.34	83.2%			3.29	81.6%	3.15	72.7%	3.59	96.3%	
No. 1～20全体の平均		R 6	3.20	80.7%	3.16	80.5%	3.18	80.8%	2.97	73.2%	2.91	74.6%	3.06	74.4%	3.18	85.5%	<p>※令和7年度の重点課題 基礎学力の定着から向上へ ～家庭学習の習慣化～ 基礎学力の定着のためには、授業の復習が重要である。基礎学力の土台作りのため、無理なく、継続できる家庭学習のスケジュールを組み、家庭学習を通じて、学習サイクルを効果的にしていく。授業と家庭学習を繋ぐため、課題の出し方や評価方法を工夫し、家庭学習に関する全教職員の共通理解や、家庭への協力を依頼していく。一人一人の学力を保障していく個別最適な学びのため、生徒に寄り添った授業スタイルを工夫し、授業から家庭学習へのつながりを充実させていく。</p>
		R 5			3.19	79.9%	3.10	77.2%			2.86	67.1%	2.84	66.5%	3.14	83.9%	
			※ 達成度とは、評価「4」「3」と答えた方が全体の何パーセントいるのかを表しています。														
			※ R 5年度の数値は、その学年集団の前年度の数値を表しています。														